

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	図書館移転事業			基本計画	章	教育文化
事業コード					節	社会教育
課係名	生涯学習課	内線			項	社会教育施設の充実
担当者氏名		職名			細項目	図書館の整備

事業概要 ①現在の図書館を学習プラザのあるサンヴェル6階に移転する。(茂原公民館・駅前学習プラザの廃止)②新図書館の管理業務を5年間指定管理者制度により委託する。③図書館情報システムを既に設置してある東部台文化会館に加え、2公民館、5福祉センターに設置し利用者のサービス向上を図る。

現在の課題や市民要望など ①現図書館は老朽化とともに、雨漏り等の修繕、耐震診断が必要である。②学習プラザの利用者減の対策を検討する。③市外貸出しの再開の要望がある。

事業目的
 ① 専門の民間事業者の持つ能力を活用し、図書館運営に関する市民サービスの向上を図る。
 ② 新たな図書館を整備することにより、来館者に居心地の良い空間を提供する。
 ③ 効率的な運営により費用の削減を図る。
 ④ 市民サービス優先のため市内在住、在勤、在学者とする。

個別取組	① 図書館業務の充実	② 図書購入費の増額
	③ 2公民館及び5福祉センターへのシステム導入	④ 開館日数・時間の延長

事業による改善・変更点	① 直営から指定管理者による管理へ	② 年間700万円⇒1,000万円
	③ 貸出し及び返却場所の増(システムのネットワーク化による図書室全館で可能)	④ 開館日数:328日⇒350日 開館時間:8時間⇒9時間

事業対象 個人・世帯 団体(民間) 団体(公共) 内部管理 その他 ()

内容 ① 市内在住、在勤、在学者 ②
③ ④

業務形態 全部委託 一部委託 直営 負担金・交付金 その他 ()

内容 ① プロポーザルによる指定管理 ②
③ ④

支出根拠 有 無 法令要綱、① ②
等名称、③ ④

事業継続 単年度 複数年度:無期 後年度負担 有 無
 複数年度:有期[始期 26 ~ 終期 30] 内容 指定管理料

事業費の積算	年度	事業費	事務スケジュール		
			年月	内容	
25年度	指定管理者選定委員会委員報酬 58千円	事業費	58	25.11	議員全員協議会
		国 県		25.11	条例改正等議案上程
		市 債		26.1	指定管理者の募集
		その他		26.2	指定管理者の選定
		一般財源	58	26.3	指定管理者の指定
		事業費	295,025	26.3	図書館閉館
		国 県		26.3	茂原駅前学習プラザ閉館
		市 債		26.7	新図書館開館
		その他			
		一般財源	295,025		
26年度	指定管理料 80,800千円 本棚等 38,880千円 管理費等 51,908千円 移転に伴う経費等 42,669千円 一般職人件費 80,768千円	事業費	125,929		
		国 県			
		市 債			
		その他			
		一般財源	125,929		
		事業費	78,800千円		
		国 県			
		市 債	46,290千円		
		その他	839千円		
		一般財源			
27年度	指定管理料 78,800千円 管理費等 46,290千円 一般職人件費 839千円	事業費			
		国 県			
		市 債			
		その他			
		一般財源			
		事業費			
		国 県			
		市 債			
		その他			
		一般財源			

経費節減効果 有 無 節減効果の内容 人件費、施設管理委託料の減額による
金額 78,000 千円

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称	25年度		26年度	27年度	
	■ 活動指標	①	図書購入費	千円	7,000	10,000
②						
■ 成果指標	①	利用者数	人	103,441	87,900	117,200
	②			平成24年度		

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	民間活力の導入により、住民サービスの向上、専門的人材の確保、経費の削減が図られる。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	図書館業務の充実。 図書購入費の増額。 司書の増員。 シフト制による職員配置により人件費を削減。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	指定管理期間を5年間と考えており、6年目以降は年間4,900万円の効果が想定される。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	施設の老朽化により、大雨時には雨漏りにより蔵書が濡れてしまう。また、台風等の水害で機械室、1階部分が浸水する。
	5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	施設改修、トイレの整備、新刊本の購入、開館時間の延長、パソコン利用の要望がある。
	6. 同規模他市・周辺市町村の状況		
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. ほとんどの自治体で実施 B. 同規模以上の自治体は実施 C. ほとんど実施していない	指定管理者制度を千葉県内では、市川市、流山市、野田市、習志野市で実施している。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない
	◎評価理由 庁内検討会、図書館運営協議会、教育委員会会議等により検討されてきたところであり、茂原駅前学習プラザへの移転及び指定管理者制度の導入を図るものとする。	
	■政策調整会議による評価	
	評価	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
◎評価理由 図書館の移転及び指定管理者制度の導入に向けて、スケジュール等遺漏無きよう進めるとともに、東部台文化会館等の図書室の体制について更に検討すること。		
■庁議による方針		
評価		
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
具体的な方向性 図書館サービスのさらなる向上を図るため、移転及び指定管理者制度の導入に向けてすすめること。		